



有限会社 岩井自販

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年8月1日 ~ 2024 年7月31日)



発行 2025年2月22日

環 境 経 営 方 針

＜環境への考え方＞

当社は、岐阜県八百津町にあります。町の中心には木曾川が流れ、周りは山で囲まれており、自然環境に恵まれた地域です。

この地域の環境を悪化させないよう配慮することにより、将来にわたり良い環境を維持し生活しやすい町(環境)を作る必要があります。

(住みやすい町、八百津を後世に残すために、)

当社の事業活動(自動車整備、販売)において、環境にやさしい車両の販売、環境に配慮した整備により、環境負荷の低減を進めます。

社員一同、自主的、積極的に、環境保全活動に取り組みます。

＜環境保全への行動方針＞

1. 温暖化防止のため、CO₂の削減に取り組みます。

- ① 電力・燃料を削減し二酸化炭素排出の削減に努めます。
- ② 燃料消費性能を維持、回復する整備に努めます。
- ③ 燃料消費性能の良い車種の販売に努めます。

2. 資源を有効活用するため、廃棄物の削減とリサイクル活用に取り組みます。

- ① 一般廃棄物の削減と分別廃棄に努めます。
- ② 産業廃棄物の分別回収による発生抑制と資源の有効利用に努めます。
- ③ 自動車リサイクル法に従い、適切なリサイクルに努めます。
- ④ グリーン購入に努めます。

3. 水資源の有効利用のため、節水に取り組みます。

- ① 整備時における洗車、工場清掃時の節水に努めます。
- ② 展示車の洗車時、節水に努めます。

4. 地球環境保全のため、環境に配慮した自動車整備に取り組みます。

- ① 環境に配慮した整備により、排ガスの抑制と排出濃度の維持、回復に努めます。
- ② リサイクルパーツの積極的な購入・活用に努めます。
- ③ 化学物質の適正利用、管理に努めます。
- ④ SDGs活動の推進に努めます。

5. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

これらについて、環境目標、活動計画を定め、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的な改善に努めます。

制定日：2009年10月17日

改定日：2024年 2月15日

有限会社 岩井自販
取締役 岩井秀倫

□組織の概要

更新日： 2025年1月11日

(1) 名称及び代表者名
有限会社 岩井自販
取締役 岩井秀倫

(2) 所在地
本 社 岐阜県加茂郡八百津町八百津 8 3 7 0 番地 1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 岩井秀倫（社長兼務） TEL：0 5 7 4－4 3－1 2 3 0

(4) 事業内容
自動車の修理・整備及び販売

(5) 事業の規模
資本金 800 万円
社員数 5 名
延べ床面積 394 m²
売上高 133 百万円(2023年8月 1 日～2024年7月31日)

(6) 事業年度 2023年 8月1日～2024年7月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： 有限会社 岩井自販

対象事業所： 本社・工場

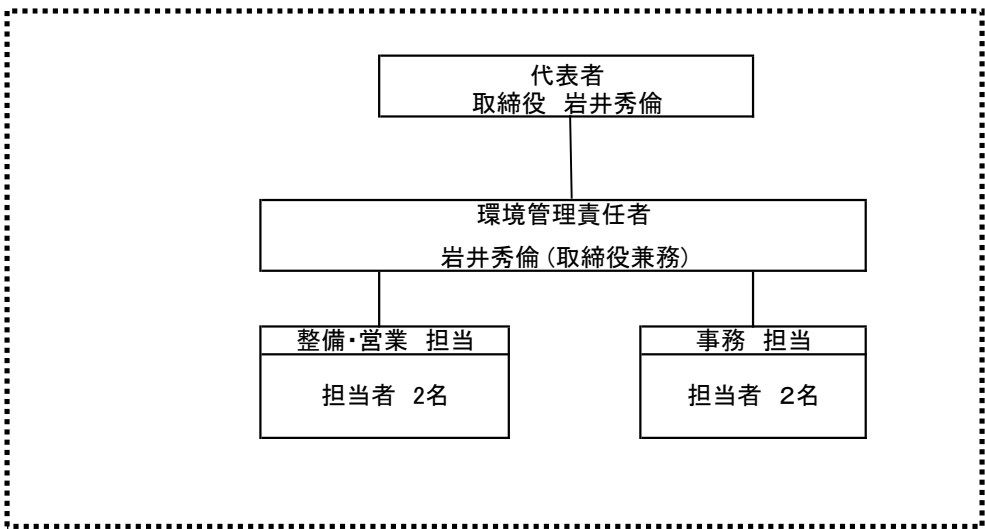
対象外： なし

活動： 自動車の修理・整備及び販売

□実施体制図及び役割・責任・権限表

作成日： 2009年10月17日

確認日： 2025年1月11日



	役割・責任・権限
代表者(取締役)	・環境経営に関する統括責任。 ・環境方針の策定・見直し及び全社員へ周知。 ・環境経営システムの構築。 ・環境目標・環境活動計画書の承認。 ・環境活動レポートの承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。
環境管理責任者 (取締役兼務)	・環境目標・環境活動計画書の作成と確認。 ・環境関連法規等の取りまとめ票の作成と確認 遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成と確認。 ・環境経営システムの実施、管理。 ・環境活動の実績集計。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。
整備 営業担当 事務 担当 (全社員)	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・自主的・積極的に環境活動へ参加。 ・環境経営システムの実施。環境経営システムの周知。 ・担当ごと環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・担当ごと 問題点の発見、是正、予防処置の実施。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・社員訓練の実施。 ・緊急事態への対応のための手順書作成。 ・テスト、訓練を実施、記録の作成。

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	21,150	21,693	22,582
廃棄物排出量	kg	12,011	10,536	11,409
一般廃棄物排出量	kg	1,121	986	1,925
産業廃棄物排出量	kg	10,890	9,550	9,484
総排水量	m ³	745	685	740

※電力の二酸化炭素排出量換算値2022年度(中部電力) 0.459 kg-CO₂/kWh

※二酸化炭素総排出量は、電力、ガソリン、軽油、灯油、L P G の合計である。

※極少量の洗浄用シンナー(キシレン)は適正に維持管理しています。

※総排水量は、水道水、地下水の合計である。

□環境目標及びその実績

年 度 項 目		基準値	2023年		2024年	2025年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の削減	kg-CO ₂	12,722	12,467	12,374	12,340	12,213
	基準年比	2020年	98%	97%	97%	96%
自動車燃料の削減 (ガソリン・軽油)	kg-CO ₂	12,464	11,592	8,341	11,467	11,342
	基準年比	2014年	93%	67%	92%	91%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	25,186	24,059	20,716	23,807	23,555
水道水の削減	m ³	130	125	148	125	125
	基準年比	2014年	96%	114%	96%	96%
一般廃棄物の削減	kg	3,200	3,008	1,925	2,976	2,944
	基準年比	2014年	94%	60%	93%	92%
産廃の削減	kg	13,080	12,164	9,484	12,034	11,903
	基準年比	2014年	93%	73%	92%	91%
燃費のよい車種の販売	台	47	52	31	52	52
	基準年比	2014年	110%	66%	110%	110%
環境にやさしい 点検 整備・製品の販売	台	1,167	1,389	1,547	1,400	1,412
	基準年比	2014年	119%	133%	120%	121%
中古リサイクル部品リ ビルト部品の購入・利 用 (グリーン購入)	台	58	73	52	75	76
	基準年比	2014年	129%	90%	130%	131%

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取り組み計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力の削減			
数値目標	○	夏の暑さ 冬の寒さにより 電気使用量の増加があった。 ショールーム内照明を2/3点灯を継続し 節電効果があり電力の使用量を減少することができた。	
省エネよびかけ	○		
必要の無い時 照明の消灯呼びかけ	○		
ウォームビズ・クールビズ促進	△		
設備の空運転防止	△		
空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△		
自動車燃料の削減			
数値目標	○	社用車1台をエコカー新車投入、代車も1台年式が若干新しい車両に更新でき 燃費向上に貢献できたと思われる。	
社用車のエコ運転呼びかけ	○		
社用車の点検整備の徹底	△		
急加速・急停車の防止	○		
冷暖房の控え目使用	△		
水道水の削減			
数値目標	×	展示車に 水垢防止のコーティング剤を利用することで若干ではあるが綺麗さを保つことができたと思われる。 洗車の回数の軽減ができた。さらなる削減方法を検討していきたい。	
節水呼びかけ	○		
展示車の洗車回数の見直し	△		
洗車 スチーム洗車の効率アップ	○		
節水タイプのコマの導入	△		
一般廃棄物の削減			
数値目標	○	各種システムがペーパーレス化を促進しているが契約書や控え等が紙媒体でもあり紙の使用量も減少していません。 焼却用のシュレッダーゴミ（紙）の処分費用が高騰している、削減強化を進める必要があります。	
可燃ゴミ(紙類含む)の削減	○		
シュレッダー 廃紙のリサイクル化	○		
コピー枚数の適正化・コピーミスを無くす	△		
分別による新聞古紙のリサイクル化	○		
産廃の削減			
数値目標	○	金属くず 廃プラに関しても処分費用が増加しています。 分別により処分量の削減 処理業者の開拓が必要です。	
金属くず・廃プラの削減	○		
分別回収によるリサイクル向上	○		
分別回収を促進しリサイクルを促進	△		
廃棄先業者へのリサイクル呼びかけ	○		
燃費のよい車種の販売			
数値目標	×	購買意欲の低下、車両生産能力の低下、納車の長期化により車両販売が低迷しています。 販売促進のためDMや折込チラシの検討をする。	
省燃費車両の販売	○		
ハイブリット・EVの販売促進	△		
エコカー減税対象車・平成22年度燃費基準達成車の販売促進	△		
環境にやさしい 点検整備・製品の販売			
数値目標	○	エコオイルの販売は順調でした。また12か月点検も若干ですが増加しています。 さらなる点検促進を行います。	
エコ定期点検・エコ車検整備の促進	△		
6ヶ月 12ヶ月点検の促進	○		
エコオイルの販売促進	○		
エコタイヤの販売促進	△		
エコ性能維持のための車検整備の促進	△		
中古リサイクル部品リビルト部品の購入・利用(グリーン購入)			
数値目標	×	オルタネーター スターター A/Cコンプレッサー等リビルト部品の販売は順調です。 钣金作業の減少により中古部品の利用が減少した。 リビルトパーツの促進をPRすることを検討していきたい。	
中古部品・リビルト部品の積極的な見積り提示	○		
PRポスター等の掲示	△		
社会貢献			
エコキャップ推進運動	○	NEXTロータス岐阜との取組みでかなり多くのエコキャップの回収ができました。今後も継続的に取組んでいきます。 また隣接地の清掃活動もさらに取組んでいきます。	
隣接地 小学校通学集合場所の清掃活動	△		

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
消防法	少量危険物保管届出
道路運送車両法	認証工場届出
自動車リサイクル法	使用済み自動車、引き取り業者登録等
浄化槽法	水質基準の遵守
高圧ガス保安法	フロン回収用ボンベの容器再検査、所有者の表示
労働安全衛生法	アセチレンガス等溶接

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等は過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

今年度は、8項目取組んできました。結果として5項目で目標達成でき、3項目で未達成となった。

- ・ 電力の削減においては、ショールーム電灯を2/3利用を継続して消費電力の削減に貢献できた。
- ・ 自動車燃料の削減においては、社用車1台 代車1台を更新し、燃料の削減ができた。
- ・ 一般廃棄物の削減においては 可燃ごみなど全体的に減少した。紙シュレッダーゴミごみのリサイクルもできた。
- ・ 環境にやさしい点検整備・製品の販売においては、エコオイルの販売が順調 12か月点検は徐々に増加している。
- ・ 環境にやさしい点検整備・製品の販売においては、12か月点検は徐々に増加しているが 入庫車両の減少により目標達成できませんでした。

現在の自動車業界の激変はすごい。この2～3年で大幅に変化した。さらに、アフターコロナ対策、市場の変化、特定整備工場の対応 OSS対応、OBD点検、OBD車検、電子車検証、各種改正、自動車新技術の対応、周辺地域の経済変化、価値観の変化等 新しい対応や新たな勉強して活動しなければいけない。今後いろいろな情報収集をして環境活動を推進していきたいと思います。

□環境活動レポートの発行予定

次の環境活動レポートは 2025年11月発行します。

□環境活動の紹介

- ・ エコキャップ回収運動を実施中です。
NEXTロータス岐阜の取組みとして企業39社で実施、
2024年7月9日までに1,317,317個の回収ができました。
- ・ 太陽光発電により二酸化炭素排出量の削減に貢献しています。
2023年8月～2024年7月実績にて 102321kWh発電
46965Kg-CO2 排出量削減に貢献しています。



- ・ SDGsの取組も実施中です。

